

# 社員インタビュー

2021年9月1日

## (1) アイサスに入社しようと思ったきっかけは？

一番のきっかけは、内容が充実したHPの存在と、実際に職場を見学させていただいたことによってアイサスで働く自分のイメージがつきやすかったことだと言えます。

就労移行支援サービスを利用しながら就職活動を行っていた際に、ハローワークでアイサスの求人を見つけました。アイサスのHPでは仕事・職場環境・福利厚生の内容が細かに紹介されており、他の企業に比べて就労のイメージがつきやすかったことが今でも非常に印象に残っています。また、見学の機会と社員の方のお話を聞く場も用意していただき、HPだけでは分からない情報を得ることが出来たということと、就労における不安点を直接相談することが出来たこともアイサスを受けてみようと思った大きな要因の一つでした。

## (2) 入社時、どんな気持ちだった？

社会人としての活動にかなりのブランクがあったため非常に緊張していましたし、周りから浮かないように細心の注意を払わなければいけないという気持ちでいっぱいでした。

## (3) 社内でカミングアウトしたときの心境は？

自分の経歴・病歴を話すことに関してはそこまで抵抗感はありませんでした。職場見学をあらかじめ行っていたことや面接での社員の皆さんの自分への接し方に触れたことによって、アイサスには自分の存在に大きな拒否反応を示す社員はいないのではないか、という自信があったからだと言えます。

## (4) 上司との面談はどうだった？

ことさらに緊張していたことしか覚えていない、というのが本音です。しかし、同期の方たちと違う経緯で入社することになった自分の仕事の範囲や、こういった業務を重点的に覚えてほしいといった、職場における自分の未来の展望を教えていただいたので非常に助かりました。

また、自分の体調に関して「決して無理はしないでほしい」と上司の方から直接聞けたことにより、少し余裕が生まれました。

## (5) 会社の対応はどうだった？

申し訳ないくらいに配慮していただいている、というのが素直な感想です。話し合いの上、県の実習制度・トライアル雇用制度を上手く活用していただき、入社して最初の2か月間は時短勤務を行い、環境への慣れを作る「助走期間」を設けていただきました。自分の体力が予想以上に落ちていたので、この時短勤務の期間は非常に助かりました。

#### (6) 今の心境は？

仕事を多く覚えて、少しでも所属する部署の戦力になりたいと強く感じています。ただ、気持ちばかり焦って体調を崩すことが一番駄目だとも考えているので、今の自分にできる範囲の仕事を精いっぱい取り組んでいくつもりです。

#### (7) 先輩社員とはどうだった？

先輩の皆さんには丁寧かつ親切に仕事を指導していただいています。同期の社員とも分け隔てなく接していただいているなど感じています。

#### (8) 入社後の研修はどうだった？

大変でした。

時短勤務と研修の期間が重なっていいため、どうしても自分の受けていない研修の内容に触れることが出来ず、同期に取り残されないよう遅れを取り戻すことに必死だったと言えます。

研修の補講を受けるという形で配慮は受けていたのですが、全ての研修に補講があるわけではなく、また、受けることが出来た研修も自分が全く知らない内容から始まるということがあり、「基礎的な事を自分だけ分からないまま業務が始まってしまったらどうしよう」と非常に不安でした。

今後同じように時短勤務でスタートを切る方がいらっしゃるのなら、もう少し工夫をしていただけたら働きやすくなるのではないかと考えています。

例) 研修担当者間で、時短勤務の方の受けた研修内容の範囲を共有する。

受講できなかった研修の資料を渡してあげる。

この研修は受けなくてもすぐには業務に支障がないということを、当事者に事前に説明しておく。

#### (9) 障がい者雇用で困ったこと、要望などはある？

(8) でも書いたように、時短勤務の状態を受ける入社後の研修に困りました。

また、県実習制度の期間にハローワークから電話がかかってくるのが何度かあったのですが、取次の際にもう少し配慮していただけると良かったかなと思いました。

#### (10) これから就職を考えている方に一言！

個々人が抱える障害の程度は様々ですし一様に断言することはしたくないのですが、少なくとも自分はアイサスに入社したことにより、誇張表現ではなく本当に人生を再スタートさせることが出来ています。

アイサスに限らず、自分の現状に合った障害者雇用を行っている、または行おうとしている企業は必ずあるはずですが、もしも、就職活動を行えるまで状態が回復しているが障害者雇用に対して不安がある、あるいはすでに就職活動中であるが自分に合った企業になかなか巡り合えないという方がいらっしゃるならば、一人で抱え込まず然るべき機関に相談してみるというのも状況を打開する手の一つだと思います。